

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	0095-3 防災行政無線(デジタル同報系)整備推進事業	会計	01	一般会計
基本	15 自然災害等への十分な備えをする	款	02	総務費
策		項	01	総務管理費
目	4 連絡・通新体制の確保	目	20	防災費
細目		101	防災対策経費	
細々目	01	防災関係経費		
基本計画該当頁		93		行革大綱の重点事項番号
担当部課	コード	300100	評価者氏名	藤森尚志
名称	総合危機管理室	連絡先	22 - 9640 (内線) 2321	

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
市民、防災関係団体等 (※対象件数)	災害時及び武力攻撃事態等の際、一斉に情報伝達が行われ、情報収集が出来る。
根拠法令・要綱等	伊賀市防災用行政無線の設置及び管理に関する条例
開始年度	平成 17 年度
終了年度	平成 25 年度
事業内容	H19年度において、無線施設全体整備計画の見直しを行い、上野地区については屋外拡声子局が整備途上であるため、既に整備されている地区の状況も踏まえ、H20年度において地区市民センターを中心に整備を図る。 状況変化等
全体整備計画では、約300箇所に屋外拡声子局の整備計画であったが、全国的に風水害時における屋外拡声子局の有効性について見直す機運があり、H19年度において全体整備計画の見直しを行った。ただし、支所管内における既存の戸別受信機の取扱いについて、代替手段等を今後方針決定する必要があり、その内容によっては、本数等の見直しを再度する必要がある。	

整備内容

1 建設用地	親局(本庁)1台 副統制台(消防本部、各支所1台) 中継2局、拡声子局269局
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	再送信子局4局、衛星受信子局17局
4 総事業費	1,919,415 千円

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	
2 配置(予定)人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の類似施設	

進捗状況	年度	平成18年度 決算内容					平成19年度 決算内容					平成20年度 計画内容					平成21年度 計画内容					平成22年度 計画内容					平成23年度 計画内容				
		H17	H18	H19	H20	H21	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	
委託		⇔					(千円)					計画策定委託料 1 式 945					実施設計委託料 1 式 947					実施設計委託料 1 式 947					実施設計委託料 1 式 947				
		⇔										工事請負費 1 式 51,952					工事請負費 1 式 276,500					工事請負費 1 式 276,500					工事請負費 1 式 276,500				
進捗率(%)							事業費計(A) Σ 0					事業費計(A) Σ 945					事業費計(A) Σ 52,899					事業費計(A) Σ 277,447					事業費計(A) Σ 277,447				
事業投入人員		人件費(B) 0.0 人					人件費(B) 0.4 人					人件費(B) 0.4 人					人件費(B) 0.4 人					人件費(B) 0.4 人					人件費(B) 0.4 人				
フルコスト(A)+(B)		0					3,825					55,779					280,327					280,327					280,327				

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	0	945	52,899	277,447	277,447	277,447
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
受益者負担						
その他						
一般財源	0	945	52,899	277,447	277,447	277,447
計	0	945	52,899	277,447	277,447	277,447
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等					

事業種別	継続	単独	事業類型	Ⅲ	整備事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H18	H19	H20	H21
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		
		目標	目標		
		実績	実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H18	H19	H20	H21
防災行政無線推進事業の進捗	事業推進計画の各局設置数	局数	目標 -	目標 -	6	0
			実績 -	実績 -		
			目標	目標		
			実績	実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	市域では、上野地区で屋外拡声子局が未整備であり、災害時の情報伝達手段の確保のため本事業の推進が必要である。また、各支所既存施設(アナログ方式)については、1部老朽化の問題もあり、既存施設のデジタル化を進める必要がある。
有効性	4	災害時及び武力攻撃事態等における市及び防災関係機関等との情報伝達、情報に有効な手段であり、有効性は高い。
達成度	3	上野地区については屋外拡声子局が未整備であるため、既に整備されている地区の状況も踏まえ、H20年度において地区市民センターを中心に整備を図るところであり、達成度はやや劣る。
効率性	4	屋外拡声子局については、音で情報を伝達するものであることから、エリア的弱点から多数設置する必要があり、効率性にはやや劣る。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	拡大	防災行政無線の整備については、必要性が高いことから実効性を十分に検証しながら、屋外拡声子局数を効果的に設置するよう努める。